

平成30年度 児童養護施設 生長の家神の国寮 事業報告

I 概要

1、【平成30年度を振り返って】

平成30年度は、以下の3つの重点課題を掲げて、社会的養護の使命と責任を果たしてまいりました。

- ① 各ホーム・ユニットの全児童を全職員でケアしサポートする「全寮体制」を構築する。
- ② 認め合い、褒め合い、讃え合う「和顔・愛語・讃嘆」の実践—すべての人に宿る「神性・仏性」を信じ、“よき言葉の創化力、を活用して引き出す創立者谷口雅春先生の教育理念(生命の教育)の実践
- ③ 職員個々の資質向上と、「人間力」「専門性」を涵養する研修システムの構築

また、「人材対策特別委員会」を軸に施設全体で人財確保に取り組み、その結果、9名の職員を採用することができました。人財の「採用」「育成」「定着」は、多様化する社会的ニーズに応えるために必須の課題であり、今後の社会的養護、児童養護施設に求められる「高機能化」「多機能化」を展望して、さらに注力してまいります。

令和元年度は、以下の3つの重点課題を掲げて、社会の公器としての責任を果たしてまいります。

- ① 人財の「確保」「育成」「定着」～育てる人を育てる
- ② 子どもの生活支援の質の向上のための「働き方改革」
- ③ 施設の「高機能化」「多機能化」をめざし、職員同志が認め合い、讃え合い、尊敬し合う施設をつくる！

また、地域子育て支援事業は、宿泊型のショートステイ事業に日帰り型が加わり、利用ニーズに即したサービスの提供を行ってきました。また、子育て広場「こすもすひろば」には、多くの親子が毎回参加しており、子育て支援事業として地域福祉に貢献しています。さらに子ども食堂「おいしいじかん」を地域交流スペースで実施していることが、国立市の広報や公民館便りに紹介されました。令和元年度は、「地域子育て支援部門」として人員の拡充をはかり、さらに地域貢献事業に取り組んでまいります。

2、【各ホームの総括】

当施設では、児童の年齢・性別・問題性等を考慮し、8つのホームに児童を分散配置して養護・養育を行っている。各ホームには生活支援型援助を行うケアワーカー3名が原則として常勤配置されている。

<本体施設>

- ①ひだまり
- ②枇杷の家
- ③太陽の家
- ④みつばちの家

<グループホーム>

- ⑤プラムフィールド
- ⑥樺の家
- ⑦さくらんぼの家
- ⑧ひまわりの家

3、【その他専門職の配置】

当施設の処遇部門には主に生活支援型援助を行うケアワーカーと、主に問題解決型援助を担うその他専門職の二職種がある。

- ①基幹的職員
- ②自立支援コーディネーター
- ③家庭支援専門相談員
- ④里親支援専門相談員
- ⑤グループホーム支援員
- ⑥個別対応職員
- ⑦管理栄養士
- ⑧心理職

4、【地域支援事業、他】

- ①ショートステイ事業
- ②こすもす利用
- ③人財対策

5、【東京都福祉保健局の現地検査の報告】

・平成30年9月4日付け東京都福祉保健局長発通知:

6、【福祉サービス第三者評価結果の報告】

<http://www.kamino92.or.jp/thirdparty.htm>

II 措置児童の入所状況について

1 各月入所児童数及び在籍児童状況(各月1日現在)

【施設全体】

		幼児		小学生		中学生		高校生		その他		計	
4月	男	4	5	6	12	3	6	8	16	3	3	24	42
	女	1		6		3		8		0		18	
5月	男	4	5	6	12	3	6	8	16	3	3	24	42
	女	1		6		3		8		0		18	
6月	男	4	6	10	17	3	6	8	16	3	3	28	48
	女	2		7		3		8		0		20	
7月	男	4	6	10	17	3	6	8	16	3	3	28	48
	女	2		7		3		8		0		20	
8月	男	4	6	10	17	3	6	8	16	3	3	28	48
	女	2		7		3		8		0		20	
9月	男	4	6	9	16	3	6	8	16	3	3	27	47
	女	2		7		3		8		0		20	
10月	男	4	6	9	19	3	6	8	16	3	3	27	50
	女	2		10		3		8		0		23	
11月	男	4	7	9	19	3	6	8	16	2	2	26	50
	女	3		10		3		8		0		24	
12月	男	4	7	9	19	3	6	8	16	2	2	26	50
	女	3		10		3		8		0		24	
1月	男	4	7	9	19	3	6	8	16	2	2	26	50
	女	3		10		3		8		0		24	
2月	男	4	7	9	19	3	6	8	16	2	2	26	50
	女	3		10		3		8		0		24	
3月	男	4	7	9	19	3	6	8	16	2	2	26	50
	女	3		10		3		8		0		24	

2 退所児

退所日	学年	性別	事由
30.04.01	高校3年生	男	進学(予備校)
30.08.22	小学3年生	男	家庭復帰
30.10.17	措置延長	男	就職
31.03.31	高校3年生	男	進学
31.03.31	高校3年生	男	進学

3 入所児

入所日	学年	性別
30.05.21	小学6年生	男
30.05.25	幼児	女
30.05.25	小学3年生	男
30.05.25	小学4年生	女

	30.05.25	小学6年生	男	
	30.05.25	小学5年生	女	
	30.10.25	小学3年生	女	
	30.10.25	小学4年生	男	
	30.10.30	小学6年生	女	
	30.10.31	幼児	女	

Ⅲ 施設運営管理について

職員構成

平成31年3月1日現在

	正副施設長	ケアワーカー	心理	事務	その他専門職	ショートステイ	調理員	その他非常勤	嘱託医	計
男	2	10	1	1	4	1		5		24
女		10	2	1	6	2	6	8	1	36
計	2	20	3	2	10	3	6	13	1	60

Ⅳ 建物諸設備の管理

① 定期点検

- ・電気設備保守点検
- ・消防設備保守点検
- ・建物定期点検

② 修繕等

4月21日 児童自立応援室給湯器交換他

7月24日 さくらんぼの居室ドア、外構修繕

Ⅴ 災害対策の実施状況

1 避難訓練

	想定	訓練内容
4月7日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設・全GH)
5月24日	夜間・地震・火災	総合自主避難訓練(本体施設)
6月12日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設・全GH)
7月9日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設・全GH)
8月30日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設・全GH)
9月7日	夜間・地震・火災	総合自主避難訓練(本体施設)
10月25日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設・全GH)
11月22日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設・全GH)
12月13日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設・全GH)
1月17日	夜間・地震・火災	総合自主避難訓練(本体施設・全GH)
2月14日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設・全GH)
3月7日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設・全GH)

2 消防関係諸設備・器具点検

9月30日 / 消化器具・自動火災報知設備・誘導灯及び誘導標識

9月30日 / 消防機関へ通報する火災報知設備

3 防火管理委員会

運営会議内で開催	避難訓練報告と予定、災害備蓄品について、児童の安心安全(ヒヤリハット)について
4月19日	<災害時>緊急マニュアルの改訂 北朝鮮情勢をうけて
6月8日	避難訓練の実施